

平成29年度実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 蒲郡商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考						
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価				今後の展開・改善点等					
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標	実施方法		
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者の経営基盤の安定・強化を図るため、計画的に小規模事業者に対し、各種施策を周知・説明し、積極的に活用できるよう支援することを主目的に巡回・窓口相談指導を実施する。	(1)巡回窓口指導実企業数 501件 (2)巡回窓口指導延件数 1271件 (3)課題解決提案件数 51件 (4)経営革新計画承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 133.8%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 102.0%)	得られた効果	小規模事業者のよき相談相手として、経営基盤の安定・強化及び企業ニーズに即した各種施策普及を図ることができた。併せて伴走型支援を通じて小規模事業者の課題解決を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	満足度	補足	目標	課題解決提案を促進させることを重点に巡回窓口相談指導を実施する。
講習会事業	地域内事業者の大多数を占める小規模事業者の経営基盤の安定・強化を図るため、小規模事業者が抱える経営上の問題点に対応する実務的な講習会を重点に行うとともに、個別相談会も開催する。	(1)個別指導・経営一般3回・税務12回・労働12回・その他18回 合計45回(指導者数73人) (2)集団指導:税務14回・経営一般28回・労働1回 合計43回(指導者数354人)	小規模事業者	指標	開催回数 (達成度 102.3%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	多数の小規模事業者に対し、経済問題あるいは専門分野・業種別問題等、広い知識の普及啓発と特定の知識・技術の習得を支援することが出来た。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	満足度	補足	目標	集団指導については、小規模事業者を必要とするすべての従業員が参加増を図るためセミナーカリキュラムの充実を図る。
記帳指導事業	創業者・新規青色申告申請者への記帳に関する支援及び小規模事業者の日常の記帳事務軽減のため記帳指導事業を実施する。	記帳機械化指導対象者数 19事業所 指導延日数 232日 指導延回数 267日	小規模事業者	指標	指導対象小規模事業者数 (達成度 95.0%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	記帳指導員による記帳指導を通じて、事業上の計数知識修得とともに、税務関連の基礎知識修得ができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	満足度	補足	目標	今後とも記帳指導を必要とするすべての小規模事業者に対し継続して実施する。
若手後継者等育成事業	次代を担う経営者の人格醸成と経営能力の向上を図ると共に、地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動に寄与し、併せて会員相互の啓発親睦を図ることを目的として蒲郡商工会議所青年部を組織しており、当該団体活動を通じて、地域の経済的発展の支えとなる若手後継者の育成及び組織化を図る。	(1)例会等の開催 合計13回 (2)会員総会、連合会活動(愛知県連、東海ブロック、日本VEG)への参加、愛知VEG DAY、東海ブロック大会、全国大会。その他会議・総会等へ参加。 (3)研修事業 延べ148名(うち青年部103名)、異業種交流会延べ68名(同58名)、地域振興事業 延べ30名(同30名)	小規模事業者	指標	研修等例会における参加率 (達成度 118.8%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	今年度は講演会等の研修事業、異業種交流会も重視して実施。広範な事業活動を通じて、次代の若手経営者育成に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	満足度	補足	目標	引き続き若手後継者の育成に繋がる事業に取り組む。
景況調査	蒲郡市内の小規模事業者等の景況動向を迅速に把握し、当地域の経済情報として提供する。また行政当局へ諸施策を要望する際の資料とするため景況調査を実施する。	景気DIアンケート形式の調査を、四半期毎に実施し、冊子、Webページ、会報等を通じ小規模事業者・中小企業事業者に調査結果を提供した。 ・平成29年4月～6月 ・平成29年7月～9月 ・平成29年10月～12月 ・平成30年1月～3月	小規模事業者	指標	調査対象事業所数 (達成度 92.4%)	指標	調査票回収率 (達成度 104.5%)	得られた効果	管内小規模事業者等の景況動向を的確に把握し、地域経済情報として提供することにより、小規模事業者等の今後の企業経営の一助となった。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	満足度	補足	目標	継続的な景気動向調査であり、来年度も本年度と同様に調査を行い管内の景気動向の把握に努める。
経営状況の分析	小規模事業者の需要を見据えた計画的な経営の促進に向けて、経営指導員の巡回・窓口相談、セミナーの開催等を通じて、経営分析・事業計画策定の意義・効果について気づきを促し、自らが実現できる他社との差別化要因、ターゲットとなる顧客を明確化するため、小規模事業者の経営分析を行い、必要な指導・助言を行う。	小規模事業者からの補助金申請や資金調達の相談に応じて、また活用事例の紹介やセミナー開催を通じて、経営分析・事業計画策定に取り組む事業者の積極的な取り組みを図り、経営指導員が経営状況分析の支援を行った。	小規模事業者	指標	経営分析実施事業者数 (達成度 75.0%)	指標	セミナー開催回数 (達成度 66.7%)	得られた効果	自社を客観的に見つめ直して経営状況を分析することにより、機会を捉えて自社の強みを生かす自社の方向性、基本方針を明確化するとともに、解決すべき経営課題を抽出することができた。事業計画の策定に必要な経営分析の支援を行うことができた。	総合評価	B	事業実施評価	C	自己評価	C	調査結果	満足度	補足	目標	経営分析・事業計画策定の意義・効果について気づきを促すことにより、経営分析に取り組む小規模事業者の掘り起こしを図る。
事業計画策定支援	地域の経済動向調査、経営状況の分析、需要動向調査を踏まえて、事業計画の策定支援を行う。必要に応じて、当商工会議所専門指導員等と連携し、伴走型の指導・助言を行い、小規模事業者のビジネスモデルの再構築、経営力向上、販売促進を図る。	経営分析を実施した小規模事業者に対して、必要に応じて専門知識を有する中小企業診断士等の専門指導員と連携し、経営分析の結果を踏まえて経営指導員が事業計画策定の支援を行った。	小規模事業者	指標	セミナー開催回数 (達成度 66.7%)	指標	事業計画策定事業者数 (達成度 71.7%)	得られた効果	人口や市場が減少している経営環境下において、小規模事業者が売上・利益を確保するためには、需要を見据えた計画に基づいた経営が不可欠であり、事業計画の策定支援により小規模事業者の経営力向上に寄与することができた。	総合評価	B	事業実施評価	C	自己評価	C	調査結果	満足度	補足	目標	経営指導員の支援スキルの向上、組織内での支援ノウハウの共有化、外部の専門家の活用の促進により、支援力の向上を図る。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

創業支援	浦郡市の創業支援事業計画が、産業競争力強化法に基づき、国から認定され、浦郡市と地域の創業支援機関で「がまごおり創業支援ネットワーク」を構築し、各種の創業支援事業を実施するとともに、創業の段階に応じ創業支援機関が連携し、創業者のサポートを行うことにより地域での創業の促進を図る。	(1)創業相談窓口開設 (2)創業スタートアップセミナーの開催:18名参加 (3)創業塾の開催:8名参加 (4)創業フォローアップセミナー&創業倶楽部の開催:9名参加 (5)創業支援セミナーの開催:2回開催20名参加 (6)専門家個別相談の開催:2回開催9名参加 (7)創業融資のあっせん:8件 創業融資実施:12件 (8)創業支援ネットワークの運営 (9)コワーキングスペースの開設	小規模事業者 創業者	指標	セミナー等開催回数 (達成度 125.0 %)	指標	融資あつせん・実施件数 (達成度 66.7 %)	セミナー等を通して創業戦略シートを活用し、創業計画を完成させ、さらにその計画のブラッシュアップを図ることができた。	総合評価 A	事実 実施 評価 の A	自己評価	調査 結果 の A	満足度	補足	目標	がまごおり創業支援ネットワーク及びセミナー開催等を通して、支援対象者の掘り起こしを行うとともに、創業に向けての伴走型支援を強化する。	○			
				目標 数値	4	実績 数値	5				目標 数値		30		実績 数値			20	必要性	実施方法 両方変更する
				指標	創業支援件数 (達成度 115.0 %)		指標				(達成度 %)		自己評価		満足度			補足	目標	
				目標 数値	60	実績 数値	69				目標 数値				実績 数値				必要性	実施方法 変更する
策定後の 実施支援	事業計画の着実な実行を支援するため、策定した事業計画の進捗状況を把握するとともに、必要な指導・助言を行い、小規模事業者の計画に基づいた経営を伴走型で支援する。	(1)計画策定後の着実な実行をフォローアップ:事業計画を策定事業者に対するフォローアップとして、経営指導員が巡回訪問等により進捗状況の把握すると共に、事業計画の実行にあたって必要な指導・助言を行った。 (2)公的融資制度の活用を支援:マルケイ融資推薦数(6件) (3)補助金活用の支援 (4)販路開拓を支援	小規模事業者	指標	フォローアップ延べ回数 (達成度 74.2 %)	指標	補助金申請支援事業者数 (達成度 71.1 %)	計画策定後の濃密なフォローアップにより進捗状況を把握し、計画実行の方向性の確認や必要な情報提供・指導助言を行うことができた事業所がある一方で、フォローアップの頻度が低く、問題の発見、対策が遅延するケースもみられた。	総合評価 B	事実 実施 評価 の B	自己評価	調査 結果 の B	満足度	補足	目標	定期的なフォローアップによる進捗状況の把握、タイムリーな指導助言に努める。	○			
				目標 数値	240	実績 数値	178				目標 数値		45		実績 数値			32	必要性	実施方法 両方変更する
				指標	補助金申請採択事業者数 (達成度 91.3 %)		指標				(達成度 %)		自己評価		満足度			補足	目標	
				目標 数値	23	実績 数値	21				目標 数値				実績 数値				必要性	実施方法 変更する
需要動向調査	小規模事業者が販売・提供する商品・サービスに対するターゲット顧客のニーズや需要を調査により明らかにするとともに、精度の高い経営戦略の立案・サービスの開発、効果的で具体的な販売促進施策の実行を促進する。	需要を見据えた経営戦略の策定や効果的な販売促進施策を立案するため、1)市場の動向調査、及び2)需要の動向調査を実施・支援した。	小規模事業者	指標	市場動向調査 支援対象事業者数 (達成度 66.7 %)	指標	需要動向調査 支援対象事業者数 (達成度 206.7 %)	需要を見据えた経営戦略を立案・実行するためには、市場動向やターゲットとなる商圏、顧客ニーズの把握など必要動向を把握し分析することが必要であり、事業者の定量的・定性的な需要動向の把握に寄与することができた。	総合評価 A	事実 実施 評価 の A	自己評価	調査 結果 の A	満足度	補足	目標	マーケティング戦略に精通した専門家の目利きによるターゲット顧客のニーズ・需要の把握を支援する。	○			
				目標 数値	60	実績 数値	40				目標 数値		15		実績 数値			31	必要性	実施方法 両方変更する
繊維展示会等 出展支援	当地域の地場産業である繊維産業の小規模事業者に対する販路開拓支援として、当商工会議所・浦郡市、各業界団体が連携して三河産地における総合展示会「テックスビジョンミカワ」の開催及び国内外の展示会への「テックスビジョンミカワ」としての出展を行い、繊維関連事業者の販路開拓を支援する。	(1)三河産地開催の「テックスビジョン2017ミカワ」への出展支援 ＜開催概要＞ 会期:平成29年11月17日(金)～18日(土) 2日間 会場:浦郡商工会議所 他 (2)国内外の繊維関連等展示会への出展支援 よりバイヤーに向けて効果的に商談機会の拡大が見込まれる展示会・商談会への出展支援を行った。	小規模事業者	指標	テックスビジョン出展事業者数 (達成度 100.0 %)	指標	展示会・商談会出展事業者数 (達成度 66.7 %)	展示会・商談会出展事業者数は目標を下回ったものの、商談件数、取引見込み数は目標を上回った。各企業の想定されたターゲット市場に対して的確に訴求することができ、新規取引先の獲得に資することができた。	総合評価 B	事実 実施 評価 の B	自己評価	調査 結果 の B	満足度	補足	目標	繊維関連事業者の商品のターゲット市場に合わせた展示会への出展をさらに促進する。	○			
				目標 数値	22	実績 数値	22				目標 数値		9		実績 数値			6	必要性	実施方法 両方変更する
				指標	展示会・商談会商談件数 (達成度 60.5 %)		指標				展示会・商談会取引見込件数 (達成度 106.7 %)		自己評価		満足度			補足	目標	
				目標 数値	405	実績 数値	245				目標 数値		135		実績 数値			144	必要性	実施方法 両方変更する
地域連携商談会 等出展支援	小規模事業者の商談や情報交換等を行う交流・ビジネスマッチングの場として商談会事業を実施し、小規模事業者の技術や製品による新規取引先の開拓等を促進し、将来の継続的な取引に結びつけることにより、企業の発展並びに地域産業の活性化を図ることを目的とする。	出展支援対象事業 ・アライアンスパートナー発掘市 ・『地域の絆』情報交換・商談会 ・地域商談会(三河・知多会場) ・メッセナゴヤ ・バイヤーマッチング個別商談会	小規模事業者	指標	出展支援事業者数 (達成度 76.5 %)	指標	商談件数 (達成度 679.4 %)	新規取引先の開拓等が、将来の継続的な取引に結びつききっかけとなり、小規模企業発展の一助となった。	総合評価 A	事実 実施 評価 の A	自己評価	調査 結果 の A	満足度	補足	目標	新規取引先の開拓は、小規模事業者にとって必要不可欠な事業であり継続して実施する。次年度は支援事業者数増加のため、出展支援をさらに徹底していきたい。	○			
				目標 数値	17	実績 数値	13				目標 数値		34		実績 数値			231	必要性	実施方法 両方変更する
				指標	取引見込数 (達成度 111.1 %)		指標				(達成度 %)		自己評価		満足度			補足	目標	
				目標 数値	9	実績 数値	10				目標 数値				実績 数値				必要性	実施方法 変更する
プレスリリース 活用支援	マスコミを通じた効果的な商品・サービスの広報宣伝を支援するため、プレスリリースの活用支援を実施する。	当商工会議所では、自社の商品・サービスの広報宣伝を支援するため、報道機関(新聞社、テレビ放送局)16社に対する記者会見を月に1回開催している。 小規模事業者に対して積極的に活用を促し、より掲載されやすくなるようなプレスリリース資料の作成やブラッシュアップについて、経営指導員が個別指導により支援を行った。	小規模事業者	指標	プレスリリース件数 (達成度 62.5 %)	指標	メディア掲載件数 (達成度 64.6 %)	新聞などメディア掲載により、問い合わせ件数の増加など、商品やブランド認知度向上の効果が現れやすく、事業者の高い満足度が得られた。	総合評価 B	事実 実施 評価 の B	自己評価	調査 結果 の B	満足度	補足	目標	プレスリリースの有効性を訴求し、プレスリリースを活用する事業者の掘り起こしを図る。	○			
				目標 数値	24	実績 数値	15				目標 数値		48		実績 数値			31	必要性	実施方法 両方変更する

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

ビジネスポータル サイト活用支援	インターネットを活用した情報発信、販路開拓のためのツールとしてビジネスポータルサイト「愛知ビジネスネットワーク いざ検査！」の活用を促進する。	地域金融機関5信金と愛知県下9商工会議所で構成する「愛知ビジネスポータルサイト運営委員会」が運営主体となり、約560社の登録企業が企業・商品情報を発信、サイトの活用を通じた販路拡大やビジネスマッチング、広報活動をサポートした他、企業交流会を開催。	小規模事業者	指標 地域の参加事業者数 (達成度 91.3 %)	指標 (達成度 %)	ポータルサイト運営により、参加企業の情報発信力を高めることに寄与した。また、企業交流会の開催を通じ、参加企業同士のビジネスマッチングの場を提供することができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	事業者への調査結果 満足度 B 必要性 A	満足度 B 補足 A	目標 実施方法 変更する	サイトの魅力向上につとめ情報発信力を高めると共に、運営委員会主催セミナー、交流会等に取り組み、参加事業所のスキルアップに資する。	○
一店逸品 発掘事業	市内の商店街は、疲弊しその販促活動も低調に推移している。地域の小売・飲食店向けの販路開拓支援施策として一店逸品発掘事業「おらがの店じまん」を実施し、自社の逸品を地域の消費者に広く宣伝することで小規模小売・飲食店などの新規顧客獲得及び売上向上を支援する。	(1)おらがの店じまんver.9商店が自信を持ってお奨めする商品を募集し審査、47品を認定。パンフレットを作成・PR及びスタンプラリーを実施。 (2)イチオシ逸品フェス新商品開発・販路開拓を促進するため新商品発表即売会を実施。出品企業:14社	小規模事業者	指標 出品店舗数 (達成度 101.7 %)	指標 (達成度 %)	蒲郡市内の商店がおすすめる商品について幅広くPRしたことにより、商店・商店街の活性化を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標 実施方法 変更する	出品者が固定化されてきているので、新規の出品者を増加させ、魅力を高める。	○
会報誌・ メルマガ活用	小規模事業者の商品・サービスプロモーションの一助とするため、当商工会議所の情報媒体の活用を推進する。	①小規模事業者の販路拡大ツールとして、当商工会議所が発行する会報誌(毎月15日発行)を活用した。 ②当商工会議所メルマガマガジンへの記事掲載	小規模事業者	指標 会報誌紹介件数 (達成度 168.2 %)	指標 メルマガ紹介件数 (達成度 54.2 %)	新商品・新サービスの告知に利用され、認知度向上に効果があった。メルマガによる広報施策が課題である。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	事業者への調査結果 満足度 B 必要性 A	満足度 B 補足 A	目標 実施方法 両方変更する	支援事業者の新商品販売や店舗改装などの機会を的確に捉え情報発信の支援に取り組み。	○
蒲郡シティセ ルプロジェクト	地域の魅力的な姿を、より広く、より多くの方に届ける事を目的としており、当商工会議所青年部会員、行政若手職員、地域活性化に燃える有志らがプロジェクトに参加・支援する形で「ガマゴリ・心」を組織し、地域活性化に関する国内有数の専門家の指導・監修のもと、「ロケ誘致」と「特産品開発」を二本柱として活発な事業に取り組んでいる。	(1)ロケ誘致分野の事業:「蒲郡ロケーションサービス」を核として、ロケ候補地、受入施設の募集とロケスポット紹介や先遣事例の調査を通じて、活動基盤の拡充に取り組んだ。 (2)過年度開発した「ガマゴリうどん」の販路拡大に取り組み、お土産セットが販売開始から2年半で累計14万食を出荷。地域の新たな土産品となった。	小規模事業者	指標 参加事業者数 (達成度 90.0 %)	指標 (達成度 %)	(1)メディアを通じた情報発信 (2)商品開発 (3)販路開拓、拡大 (4)仕組み、体制、担い手育て	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標 実施方法 現行どおり	次年度も継続的な販路拡大、情報発信に努める。	○
福寿稲荷 ごりやく市	商店街では大型店の郊外出店やマイカーの普及などにより、商店街全体の売上は減少し、店舗を閉鎖するなど、中心市街地の空洞化が進行している。商店街活性化事業として福寿稲荷ごりやく市を開催し、中心市街地に「ごりやく」を創出し、活性化を図る。	福寿稲荷ごりやく市実行委員会が実施主体となり、テント市、大道芸、餅投げ(福投げ)、ストリート展覧会、落語、吹奏楽・和太鼓の演奏、キッズダンス、100円ショップ、地元高校生によるダンス披露、紙芝居、絵本の読み聞かせ、お年寄り健康と憩いの広場などを実施した。 開催回数:6回	小規模事業者	指標 年間来場者数 (達成度 98.8 %)	指標 (達成度 %)	中心市街地の活性化を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標 実施方法 変更する	来場者数を増加させるため、広報を強化する	○
ミカワ・テキスタイル ・ネットワーク事業	ミカワ・テキスタイル・ネットワーク協議会(事務局:当商工会議所)において、三河織維産地の広報宣伝に取り組みとともに、三河産地ブランドの普及推進、三河織維産地関係事業者の相互交流の活性化に取り組み、需要開拓を図る。	(1)三河織維産地のポータルサイト「夢織人」を運営し、WEB上で産地イベント情報や産地企業の情報発信、産地のブランドである「三河木綿」商品を広く訴求した。 (2)三河織維産地アンテナショップ「夢織人」への運営協力 (3)「産地ファクトリーツアー」及び「クラフトワークショップ」への開催協力。	小規模事業者	指標 参加事業者数 (達成度 80.0 %)	指標 (達成度 %)	三河産地ポータルサイト「夢織人」での情報発信を通じた三河織維産地のPRに加え、「産地ファクトリーツアー」及び「クラフトワークショップ」を通じて産地を体感する場を提供することができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	事業者への調査結果 満足度 B 必要性 A	満足度 B 補足 A	目標 実施方法 変更する	三河産地情報の発信に加え、三河織維産地関係事業者の相互交流の活性化に取り組む。	○
癒しとアンチ エイジング の郷推進事業	次世代の成長分野として期待される生涯健康産業の創出を目指すと共に、訪れると癒される、住むと若返るような癒しとアンチエイジングの郷づくりに取り組む「癒しとアンチエイジングの郷推進協議会」を通じ、医産学官の連携とそのノウハウの活用によって、医と衣食住分野の新しい生涯健康産業の事業化・市場化を図る。	(1)アンチエイジングサービス事業化・市場化推進事業:マーケティングセミナーの開催(7/25)、「健康DESIGN FES. 2017」の開催(12/10) (2)広域連携によるヘルスケア産業の育成:健康経営講演会の開催(5/29)、健康経営推進セミナーの開催(2/19) (3)その他事業:「健康経営」の推進、ヘルスケアツールの調査研究	小規模事業者	指標 プロジェクト参加事業者数 (達成度 112.5 %)	指標 (達成度 %)	地域のヘルスケア関連事業者の事業展開に向け、ヘルスケア市場の動向把握、ターゲット層に対する販売促進、今後拡大が見込まれる働く人の健康づくり市場の創出・実態把握等に資することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標 実施方法 変更する	ヘルスケア産業の創出に向け、働く人の健康づくりの推進、アンチエイジングサービスの事業化促進を引き続き推進する。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

三河繊維産業 商品開発研究事業	新商品開発、需要開拓に取り組み、市場のニーズに適合した創造性豊かな商品を提供することにより三河産地の繊維産業の振興に寄与する。	(1) テキスタイルデザイナーによる商品開発・展示会出展指導 指導先企業:4社 (2) インテリアテキスタイルのトレンドを把握するセミナー開催 「ハイムテキスタイル展」と「メゾン・エ・オブジェ」展」の最新インテリアトレンド学ぶセミナーを開催した。 参加者数:8社20名	小規模 事業者	指標			指標			テキスタイルデザイナーの指導により、トレンドを取り入れた商品開発や展示会出展での効果的なプロモーションを行うことが見込まれる。この他、トレンドセミナーの開催によりマーケティング及び商品開発の支援を行うことができた。	総合 評価	A	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	調査 結果 の 側 面	満足度	補足	目標	多様化する市場に対応したマーケットトレンドの把握やディスプレイ提案を学ぶ機会を提供する。
				(達成度 112.5 %)			(達成度 %)							A		必要性		実施方法	
				目標 数値	8	実績 数値	9	目標 数値						実績 数値		A		変更する	
雇用促進事業	・学生就職情報センター事業:大学生等への就職活動支援並びに地元企業の人材確保のため、大学生等に対し地元企業の求人情報提供を行うとともに合同企業説明会等を開催し、大学生等と地元企業とのマッチングを支援する。 ・各種検定試験支援事業:事業主・従業員のビジネススキルアップによる経営力向上を図るため検定試験を実施する。	(1)合同企業説明会・企業研究フェアの開催 開催回数:7回 参加企業数:65社 (2)就職情報サイト「東三河学生就職NAVJ」を開設 登録企業:20社 (3)各種検定試験支援事業の実施	小規模 事業者	指標			指標			学生就職情報センター事業では、企業の採用活動を支援することができた。各種検定試験支援事業では、事業主・従業員のビジネススキルアップにより、企業の経営力・成長力向上を図ることができた。	総合 評価	A	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	調査 結果 の 側 面	満足度	補足	目標	学生就職情報センター事業では、登録企業の増加を目指し、各種検定試験支援事業では、受験者の増加を目指し、より一層のPRに努める。
				(達成度 150.0 %)			(達成度 102.1 %)							A		必要性		実施方法	
				目標 数値	20	実績 数値	30	目標 数値	750					実績 数値		766		A	
部会委員会事業	・部会委員会事業:部会・委員会の開催により事業者のニーズを把握するとともに、所属部会毎の講習会・講演会等を実施することで、事業所の経営基盤強化・安定を図る。 ・振興委員会連絡会議:地区内の商工業の振興と、経営事業の普及を図ることを目的に振興委員を設置している。	(1)部会等の開催 15回 (視察会、講習会、交流会等含) (2)委員会等の開催 5回 (3)振興委員会連絡会議の開催 2回	小規模 事業者	指標			指標			委員会・部会開催等により中小企業・小規模事業者のニーズ把握及び業種別の業況が収集でき、経営基盤強化・安定等を図る上で参考となった。	総合 評価	B	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	調査 結果 の 側 面	満足度	補足	目標	小規模事業者の経営課題、ニーズの把握により一層努める。
				(達成度 84.6 %)			(達成度 %)							B		必要性		実施方法	
				目標 数値	26	実績 数値	22	目標 数値						実績 数値		A		現行どおり	
福利厚生事業	中小・小規模企業事業主・従業員に対する福利厚生の充実を図ることにより、安定した企業経営の確立をすることを目的に、各種共済制度の運営・加入促進を行う。また、中小・小規模企業事業主・従業員の健康管理の充実を図るため生活習慣病予防健診を実施する。	(1)従業員の特定退職金共済制度の運営・加入促進 (2)事業主および従業員の生命共済制度の運営・加入促進 (3)その他各種福祉制度の加入促進 (4)BWCキャンペーンの実施支援 (5)生活習慣病予防健診の実施	小規模 事業者	指標			指標			小規模事業者の福利厚生制度・健康管理充実により、安定した企業経営の確立が可能となった。	総合 評価	A	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	調査 結果 の 側 面	満足度	補足	目標	次年度も小規模事業者・従業員等の福利厚生、健康管理の向上を図るため継続して事業を実施。
				(達成度 136.0 %)			(達成度 145.0 %)							A		必要性		実施方法	
				目標 数値	200	実績 数値	272	目標 数値	300					実績 数値		435		A	
労働保険事業	労働保険への加入手続、保険料の申告・納付手続、その他雇用保険の被保険者に関する手続き等は、事業主に負担になることが少なく、国から認可を受け事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を処理し、事業主の事務負担の軽減を図る。	委託事業場及び新規委託事業場に対し労働保険事務代行を実施した。 (1)委託事業場数 228事業場 (2)離職票発行枚数 56件	小規模 事業者	指標			指標			労働保険料の申告・納付等の事務負担の軽減及び福祉の増進に効果があった。	総合 評価	A	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	調査 結果 の 側 面	満足度	補足	目標	小規模事業所未手続事業所への労働保険の適用促進を積極的に行う。
				(達成度 300.0 %)			(達成度 %)							A		必要性		実施方法	
				目標 数値	5	実績 数値	15	目標 数値						実績 数値		A		変更する	
税務関係団体 指導事業	①蒲郡青色申告会関係事業:蒲郡青色申告会運営活動を通じ、地域内の青色申告者に対して税務経理知識の向上及び適正納税の確立を図るとともに、事業経営の改善・発達を図る。 ②法人会関係事業:一般社団法人東三河法人会蒲郡支部の運営活動を通じ、税務会計知識の向上及び適正納税の確立を図るとともに、企業経営の合理化と企業の健全なる発展に寄与する。	①蒲郡青色申告会関係事業 ・税務研修会(税制改正) ・源泉個別相談会 ・源泉・年末調整個別相談会 ・確定申告相談会 ②法人会関係事業 ・決算期別説明会(3回) ・経済講演会 ・源泉個別相談会 ・源泉・年末調整個別相談会 ・確定申告相談会	小規模 事業者	指標			指標			地域の小規模事業者等が税制改正に適切に対応し、適正な申告納税が実現できるとともに、税務経理知識の普及・向上を図ることができた。	総合 評価	A	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	調査 結果 の 側 面	満足度	補足	目標	小規模事業者に対して、税務会計知識の向上に繋がる事業を積極的に実施する。
				(達成度 103.9 %)			(達成度 84.5 %)							A		必要性		実施方法	
				目標 数値	23.0%	実績 数値	23.9%	目標 数値	5.8%					実績 数値		4.9%		B	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。